

日中友好新聞

府連通信

2008年6月号
 日本中国友好協会大阪府連合会
 〒530-0013
 大阪市北区
 茶屋町10-6
 阪急北ビル4階
 TEL06-6372-8131
 050-3413-6491
 FAX06-6372-8132
 郵便振替口座
 00970-5-8978
 E-mail:jcfa@jst8.so-net.ne.jp
 ホームページ
<http://www005.u.pp.so-net.ne.jp/jcfaosaka/>

全国大会 大阪から九名が参加 四川大地震募金一千万円を越える

日本中国友好協会第五七回大会が六月七日八日の二日間、愛知県・蒲郡市で二三九名が参加して開催されました。

大阪から本部役員・代議員合計九名が参加しました。

日中平和友好条約が結ばれて三十年の節目の年、胡锦涛主席の来日で日中両国関係への明るい展望が示されました。しかし、餃子問題・チベット騒乱事件・聖火リレーへの妨害・四川省大地震といった重大事件が相次いだ中での大会となりました。

発言では、四川大地震への救援募金が積極的に取り組まれ、一千万円以上が寄せられました。留学生や他団体との共同街頭募



金活動では多額の救援募金が寄せられ、各地の領事館へお見舞いと募金を届け、感謝された。

という発言が相つぎ、この募金活動を通じてさまざまな人達との交流が深まったとの報告がありました。分散会ではチベット問題への質問や意見が多数あり、あらためて学習を深める重要性が指摘されました。

参加者の平均年齢は六六才、最年少二十一才、最高



て大会現勢をプレスで迎えたという報告されました。沙飛写真展や、京劇の全国公演の成功に向けた取り組みも話し合われました。

はじめての試み「対練」太極拳講習会開く

仙台から長崎まで七四名が参加し、五月十八・十九日の両日、大阪西支部主催の太極拳・転をしながら攻防を行なう「対練」講習会が、京都府八幡市石清水体育館で開かれました。

講習会は二四式太極拳の型を使って、甲(攻撃)と乙(防御)に別れて、太極拳に必要な攻防の基礎をしっかりと学びました。

対練(しゅわいしゅう)の応用として、甲(攻撃)と乙(防御)に別れて、太極拳に必要な攻防の基礎をしっかりと学びました。対練の動作に戸惑いながらも、初心者から太極拳の用である横受身の練習や、内家ベテランまで熱心に二日三拳の形意拳(日本の空手に似て直線で相手を攻める短打が特徴)八卦掌(敵の円周を周る参加したい)などの感想



きりえ美術展に 九〇〇名が来場

三十一回を迎えた「全大阪きりえ美術展」を、五月二十三日(二十八日、エル・おおさかギャラリー)で開催しました。

今年は一三三名の出品(一人一点)で、九〇〇名近くの来場にとどまりました。

今回三十回連続で出品された方がお二人、初出品がお二人というところで、これからは「きりえの普及」と「出品者の組織化」とりくんでいかなければと思っています。



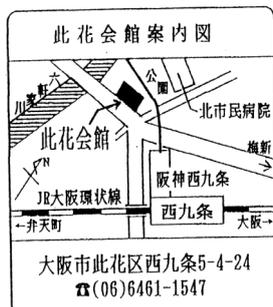
(近藤)

大阪府連大会の 「案内」

日程 七月六日(日)
 午後一時三十分から
 四時三十分

祝賀会・五時から七時
 会費四〇〇〇円(要予約)
 会場・此花会館

(JR環状線西九条・
 阪神西九条下車)



中国四川省大地震・災害義援金 第一次分20万円を領事館へ届ける

被災者の救援のため、会員・読者をはじめ太極拳・文化教室の受講生の方々にご協力いただきました。中国領事館に第一次分を届けました。

協会では引き続き被災者の救援と激励、被災地の復興のための義援金を受け付けています。

連絡先：大阪府連06-6372-8131

元氣な支部は「明るく楽しく」

「着実な友好運動」を展開

『西支部から六名の参加で、大飛』写真展等を計画する中で、会直前に新会員三名と家族会員 日中に関心を持つてもらおう努力の入会もありましたが、各地の報告を聞いて驚きました。それは一桁違うのです。

(大会に参加して M)

たとえば、広島は三〇数名の支部も以前は月一回の行事を目標に「ぎょうざの会」やハイキングと色々な行事をしていたよ四〇数名の拡大で八〇数名と驚くほどの成果を上げ、開催県として元氣な支部は「中国文化」を広める努力をし、募金活動や「沙

と打って出ないと、このままでは消滅もと言う危機感さえ感じました。オーバーかもしれないけれど！全国大会で自信を持って発言するようになりたいものです。

『各地の活動報告を聞いて、西支部も以前は月一回の行事を目標に「ぎょうざの会」やハイキングと色々な行事をしていたよただでも元氣がもたらえます。会長の締めあいさつでは「明るく楽しく」に加えて「着実な友好運動を！」の提起がありました。『うううん』と考えさせられる大会でした』(大会感想 T)

訃報 福森雍四大正支部長

病氣療養中の福森雍四さんが四月になくなられました。享年七十六才でした。

福森さんは大正支部長として支部活動を活性化させるために、役員会の定例化や日中学習会、楽しい「餃子を食べる会」などを企画し、その中心となつて活躍されました。府連理事でもあり、府連行事にも積極的に参加され、たえず府連事務局に足を運び、大正支部活動の中心でした。ご冥福を祈り合掌。

チベット問題便乗の

反中国キャンペーンへの反論

北京五輪の聖火が中国に入り、一時の喧騒はやみました。チベット問題の活動家があんなにいたとは驚きです。大型バスを改造し、女性のソフトな声で宣伝をしている団体もありです。あの街宣車の購入費や彼らの生活費はどこから出ているのでしょうか？ドライバーマの亡命政府が公表した予算は十八億円弱。この大金を提供しているスポンサー同様気にかかる

北京五輪の聖火が中国に入り、青蔵鉄道の開通はチベットに様々な変化をもたらしました。大勢の旅行者とともに漢民族・漢文化が流入し、同時にもたらされた市場経済は彼らの生活を激変させました。チベットでは仏教が極めて大きな影響力を持ち、僧籍は非常に高い人口比率を占めています。僧侶は商業活動をせず、納税もしません。商業活動を蔑視し、経済活動をさげすむことでも有名です。そこに押し寄せた市場

経済の荒波が漢民族によるチベット文化・伝統の破壊と映つても不思議ではありません。米国には黒人差別、日本には部落差別、だから中国でも民族差別があるはずだ。少数民族は差別され、虐げられているに違いない、という安直な報道が目立ちます。

中国語の「差別」という言葉に日本人が使う差別という言葉の概念はありません。翻訳をするときに苦勞をします。中国には漢民族と五十五の少数民族が暮らし、その人口比率は九十五対五。反中勢力の予測

に反しチベットでは人口が1950年の約三倍・284万人に達し、平均寿命は1959年の三十五歳前後から六十七歳に上昇しています。北京五輪、上海万博と中国に世界の注目が集まります。反中国勢力は格好のアピールの機会と捕らえ、これからも続々と反中国キャンペーンを繰り広げることが可能もないとは言いきれません。

餃子、油田、人権、「反中国」なら何でもござれ、あなたは非難の大合唱に加わりませんか？ (常任理事 石井勉)

悲劇の従軍写真家「沙飛の日中戦争」八月に大阪で写真展を開催

2008平和のための「戦争展」の展示として、
「沙飛」がとらえた日中戦争写真展を開催します。
日時：8月20日(水)～23日(土)
10:00～19:00 (23日は16:00まで)
会場：梅田・茶屋町 日中文化センター

太極拳教室案内

府連教室 開講中

なんば府立体育館など
月曜日午後六時三〇分から

西支部教室 開講中

北スポーツ・東梅田学習センター
木曜日午後六時三〇分から

守口支部教室 火・水・金

守口第一中学校他に

守口東部教室・東部公民館

土曜日・午後一時から

富田林教室 開講中

市民総合体育館(剣道場)
水曜日午後六時四五分
詳細は府連事務局まで